

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2018年6月号

NO. 297

TOPICS

退任にあたって

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 前理事長 近見 竹彦
MESSAGE P3

「通常総会」・「懇親パーティ」開催報告

ATTENTION P4

広報PRアカデミー2018「リスク・コミュニケーション」トレーニングを開講

ATTENTION P5

広報PRアカデミー2018「PRプランナー1次試験対応講座」を開講

ATTENTION P6

第23回「PRプランナー資格認定検定試験」

7月28日(金)まで1次試験受験申込受付中!

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:畔柳 一典

6月号 目次

6月～7月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	退任にあたって	— 3
REPORT(総会開催報)	第7回「通常総会」・「懇親パーティ」開催	— 4
ATTENTION(お知らせ)	広報PRアカデミー2018「リスク・コミュニケーション」トレーニングを開講	— 5
〃	「PRプランナー1次試験対応講座」を開講	— 6
〃	第23回PRプランナー資格認定検定試験7月28日まで1次試験受験申込受付中!	— 7
BULLETIN(活動報告)	第22回PRプランナー資格認定検定試験2次試験を5月13日に実施	— 9
〃	「2018 PR Yearbook」発刊 ～ 巻頭特集「今、越境するPR。」～	— 11
〃	第1回「企業部会総会」を5月18日に開催(会員限定)	— 12
REPORT(講演レポート)	朝日新聞の経済報道と広報部にお願いしたいこと ～記者と広報の信頼関係づくりとは～(会員限定)	— 12
VOICE of PR PLANNER	「働き方改革」と広報業務	— 13
PR TREND(PRトレンド(関西))	商いの心	— 15
協会掲載記事	「PRSJ in Media」	— 17

6月～7月スケジュール

広報PRアカデミー2018 3次試験対応講座

日 時 : 6月5日(火)、13日(水)、20日(水)、27日(水)
7月4日(水)、11日(水) いずれも19:00～21:30
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ

なでしこカウンスル

日 時 : 6月13日(水) 18:30～20:30
会 場 : リストランテ・ベニーレベニーレ
講 師 : (株)サニーサイドアップキャリア 代表取締役社長 平田静子氏
テーマ : 「人生を楽しむ仕事術」～いつも目の前のことだけやってきた～

第193回定例研究会

日 時 : 7月2日(月) 12:00～14:00
会 場 : 日本外国特派員協会(FCCJ)
講 師 : 「週刊東洋経済」編集長 西村豪太氏
テーマ : 『週刊東洋経済』の雑誌作りとこれからの展開～経済、産業、金融から生活まで 話題豊富な総合経済誌の魅力を探る

企業部会フォーラム

日 時 : 7月3日(火) 16:30～
会 場 : 朝日新聞社
講 師 : 朝日新聞社 東京本社 政治部長 佐古浩敏氏
朝日新聞社 東京本社 編集局長代理 佐野哲夫氏
テーマ : 「最近の朝日新聞の報道について」と「デジタル時代への対応」

広報PRアカデミー2018 1次試験対応講座

日 時 : 7月12日(木)、18日(水)、24日(火)、8月1日(水)
いずれも19:00～21:30
会 場 : 六本木グランドコンファレンスセンター

広報PRアカデミー2018 「広報・PRプラクティカル・トレーニング」

日 時 : 7月20日(金) 13:30～17:30
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ
講 師 : 白井邦芳氏
テーマ : 「企業のブランド毀損を防ぐ危機管理対応ガイドラインと適切なプロセスロードマップ～リスク・コミュニケーションの真髓を学ぶ～

6月～7月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(6月度)	日 時	: 6月 14日 (木)	16:00～18:00
	(7月度)	日 時	: 7月 13日 (金)	16:00～18:00
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(6月度)	日 時	: 6月 21日 (木)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(6月度)	日 時	: 6月 28日 (木)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(6月度)	日 時	: 6月 20日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(6月度)	日 時	: 6月 27日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: (株)電通パブリックリレーションズ	
顕彰委員会	(6月度)	日 時	: 6月 27日 (水)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(6月度)	日 時	: 6月 6日 (水)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(6月度)	日 時	: 6月 19日 (火)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
PRプランナー部会 幹事会	(6月度)	日 時	: 6月 20日 (水)	19:00～21:00
		会 場	: (株)電通パブリックリレーションズ	

退任にあたって

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
前理事長 近見 竹彦

この6月から新理事長にバトンをお渡しすることができました。2期4年の間、多くのメンバーの方にお世話になりましたことを心より感謝申し上げます。

在任中は教育事業、資格事業を中心に順調に拡大をすることができました。また顕彰委員会のアワード改革、広報委員会によるそれぞれの広報ツールの強化、国際委員会の夏季情報交換会、なでしこセミナーなど協会事業は徐々に充実してきております。各委員長をはじめとした委員会メンバーの皆様の貢献には改めて敬意を表したいと思います。

とはいえ順調なことばかりではありませんでした。理事長になって2年目でしたが、役員による不祥事が発生したことです。幸いにも早期に発見され損害は全て補填されましたが、公益法人としてはあってはならないことでした。すぐにガバナンス委員会を立ち上げ、委員としてご参加いただいた皆様の熱心な議論を経て、再発防止に向け組織改革、制度改正などを進めました。とはいえまだまだ道半ばです。喉元過ぎれば熱さを忘れるといったことのないように、ガバナンス機能が有効に働いているかを常にチェックしていくことが大切であると思います。

私は2年弱事務局の中で事務局の皆さんとご一緒させていただきました。多分皆さんが思っている以上に事務局は忙しいのが現状です。事業の拡大と様々な改革がこの要因でしょう。お一人お一人の専門性の高さモチベーションに支えられてはいますが、メンバーの増員は急務であるように思います。

いよいよ2020年に設立40周年を迎えます。本当に楽しみです。PRのさらなる成長のために、この機をぜひ生かしていただきたいと思います。PRは本当に面白く語りつくせない価値と味わいを持っています。これからもPRパーソンの一員としてこの世界の変化を見守って行きたいと思っております。

第7回「通常総会」・「懇親パーティ」開催

第7回通常総会が、5月31日(木)午後4時から、東京都港区六本木の公益財団法人国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」において開催されました。

平成29年度3月末の議決権数は法人正会員256名、個人正会員A109名、個人正会員B29名、計395名で、出席者37名、議決権行使書提出者255名、合計292名。定足数の198名を超え、総会は成立しました。

また、4号議案の定款一部変更の件も正会員総数の3分の2の議決(264名)を得ましたので、成立しました。最終的に出席者は54名でした。

総会では、次の3つの議案の審議と2つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。



【議案審議】

- 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告
並びに監査報告承認の件
- 第3号議案(1)定款一部変更承認の件
- 第3号議案(2)新・会員規則の制定承認の件
- 第4号議案 新役員選任承認の件

【報告事項】

- 第1号報告 平成30年度事業計画について
- 第2号報告 平成30年度収支予算について

会員制度改定につきましては来月号の協会ニュースから連載でその詳細をお伝えしていきます。



広報PRアカデミー 2018

「リスク・コミュニケーション」トレーニングを開講 ～リスク・コミュニケーションの真髓を学ぶ～

教育委員会

来る7月20日、2018年度「広報・PRプラクティカル・トレーニング」の第1回講座として、講師に危機管理コンサルタントの白井邦芳氏（株式会社ゼウス・コンサルティング株式会社 代表取締役社長、社会情報大学院大学 教授）をお招きし「企業のブランド毀損を防ぐ危機管理対応ガイドラインと適切なプロセスロードマップ～リスク・コミュニケーションの真髓を学ぶ～」を、六本木アカデミーヒルズ49で開講いたします。

各種工業製品の検査や品質に関するデータ改ざん、大学スポーツ選手の悪質な反則プレイなどをめぐるさまざま問題が、ほとんど毎日のようにテレビや新聞などのメディアで報じられています。ソーシャルメディアの普及・発展に伴い、風評や憶測が先行し、不祥事や災害後の対応の失敗もあいまって当該企業や団体、大学などへの批判が高まり、その存続にかかわる大きな危機に結びつく事例も少なくありません。そうしたなか、広報・PR関係者の間で、リスクマネジメントの視点に立ったリスク・コミュニケーションが再び重要視されつつあります。

リスク・コミュニケーションの分野では経営者がいっせいに頭を下げる謝罪会見に代表される公表の技術を重視する偏った傾向がみられますが、企業再生や再発防止などの重要なテーマに対して経営からの強いメッセージを発信し、組織のブランド棄損の最小化、その回復に貢献することも重要な役割です。問題の発生時、それが顕在化し広がる以前の段階からリスク・コミュニケーションを適切に進めるには、その本質や基礎を知るため現代社会におけるリスクの諸相を学ぶとともに分析を通じて、局面に応じた危機対応ガイドラインの設定、課題の解決に向けたプロセスロードマップの作成が不可欠となります。

本講座では、過去において約2600事例の危機対策を危機の現場で講じてきた危機管理コンサルタントの白井邦芳氏を招き、事業戦略の一環としてのリスク・コミュニケーションを可能ならしめる危機管理態勢の構築や事前の取組みについてご解説いただきます。特に講義では、過去の失敗事例をケーススタディとしてとり上げ、そこにおける対応の適否を分析し、リスク評価に関する考え方と適切な対応に不可欠なガイドラインを確認します。そして、リスクマネジメントの理論に基づくリスク・コミュニケーションの真髓を講義とワークショップから学び、リスク対応の基本となるプロセスロードマップの作成や危機対応のリスクと効果の検証をとおして、組織のリスク・コミュニケーションの専門家として求められる技術や能力を養成します。



リスク・コミュニケーションの真髓を学ぶ本講座。広報・PRにかかわる多くの皆さまのご参加をお待ちします。

本講座の詳細ならびに申込みについては、下記URLの協会Webサイトをご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2018/practical_risc

(事務局 真部)

広報PRアカデミー2018

「PRプランナー1次試験対応講座」を開講

ー7月12日からベルサール六本木グランドコンファレンスセンターにてー

教育委員会

協会では、今夏の「PRプランナー1次試験対応講座」を、7月12日から「ベルサール六本木グランドコンファレンスセンター」で開講します。

「PRプランナー1次試験」は、広報・PRに関する基本的な知識を50問の問題で検定する試験であり、合格のためには広報・PRにかかわる広範な知識の習得と試験分野についての体系的な理解が必要となります。基本的とはいえ幅広い分野にまたがる知識を限られた時間のなかで受講者が身に付けられるよう、本講座では広報・PRに豊富な実務経験を有するとともに、専門的な知識を備え自らもPRプランナー資格を取得したベテラン講師が試験分野を平易に解説します。また、受講者には毎回25問を掲載した模擬試験問題を配布いたします。受講者は問題に取り組むことにより、試験の形式や問題のレベル、解答を行う時間配分等を把握することができます。



なお、本講座では会場参加が難しい皆様を対象に、パソコンによる受講を可能としたWeb受講サービスを提供いたします。遠隔地に居住の方、業務でご多忙な方もWeb受講により、時と場所を選ばずご自身の都合にあわせて講座を受講し、受験準備を進めることができます。Web受講サービスは会場受講の皆様もご利用いただくことができ、業務等の都合により出席できなかった講座も、ご自身の都合にあわせて履修することが可能です。

本講座は1次試験受験の対策・準備として、また広報・PRを基礎から体系的に学びたい方に最適です。PRプランナー1次試験の合格をめざす皆様の受講申込みをお待ちします。

講座の詳細と受講申込みは以下の協会Webサイト「セミナー/イベント」の「PRプランナー1次試験対応講座（夏期）」のページ（下記URL）をご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/prp/1st_2018summer

■PRプランナー1次試験対応講座（夏期）の概要

日程	講座内容	講師	受講料	申込締切
7月12日(木) 19:00~21:30	・パブリックリレーションズの基本 ・企業経営とパブリックリレーションズ ・行政、団体等の広報活動 ・広報・PRマネジメント	(株)井之上パブリックリレーションズ 戦略企画部部長 横田和明氏	会場受講＋ Web受講 一般 32,400円 学生 19,440円 PRSJ会員 21,600円	会場受講＋ Web受講 7月10日 (火)まで
7月18日(水) 19:00~21:30	・コミュニケーションとPR ・メディアリレーションズ ・マーケティングとPR			
7月24日(火) 19:00~21:30	・インベスターリレーションズ ・エンプロイヤーリレーションズ ・広報・PRにおけるインターネットの活用	(株)エイレックス アカウント マネージャー 畑山 純氏	Web受講のみ 一般 21,600円 学生 19,440円 PRSJ会員 21,600円	Web受講 講座開講後も 受付けます
8月1日(水) 19:00~21:30	・国際広報 ・企業と危機管理 ・経営倫理とプロフェッショナリズム			

※PRSJ会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

(事務局 真部)

第23回「PRプランナー資格認定検定試験」 7月28日(金)まで1次試験受験申込受付中!

— 資 格 委 員 会 —

23回となるPRプランナー資格認定検定試験1次試験(実施:2018年8月26日(日))を、東京、大阪、名古屋、札幌の4会場にて実施します。

PRSJが認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。

受験申込期間は、7月27日(金)までとなっておりますので、皆様のまわりにPRプランナー資格の取得を目指される方がいらっしゃいましたら、本試験についてご紹介ならびにご推奨を賜れば幸いに存じます。

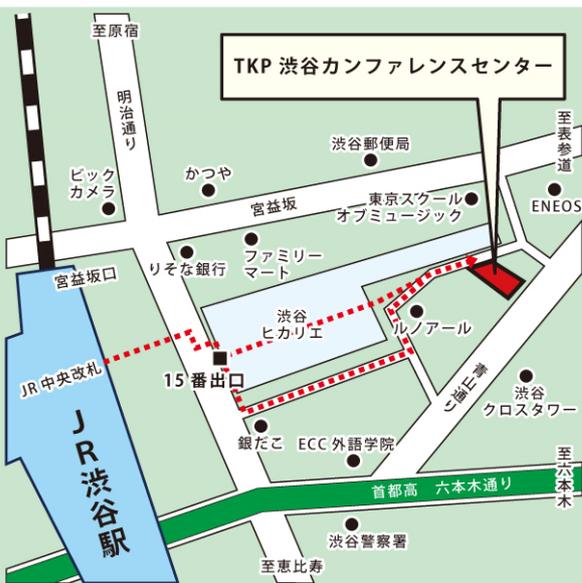
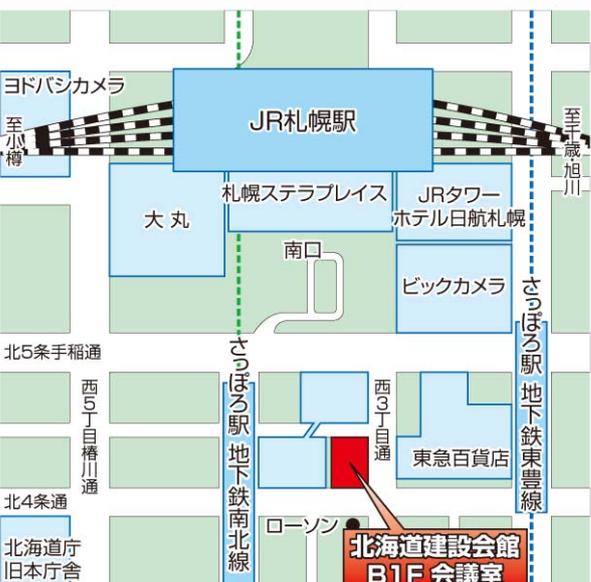
<PRプランナー資格認定制度/検定制度 1次試験 実施概要>

試 験 日	2018年8月26日(日) 試験は東京、大阪、名古屋、札幌会場ともに8月26日(日)午前中に同時実施・終了する予定です。
受験申込期間	2018年6月1日(金)~2018年7月27日(金)
受験申込方法	<p>受験申込から合否通知までの手順は次の通りとなります。</p> <p>※受験申込は完全にペーパーレス化となり、当協会Webサイトの「PRプランナー資格制度」のWebから申込となります。</p> <p><受験申込手順></p> <ol style="list-style-type: none"> ①受験種別と受験料をご確認ください ②受験料をお振込みください ③画像データをご用意ください ④PRプランナー資格制度Webサイトにアクセスします ⑤受験申込フォームに入力 <p style="padding-left: 40px;">入力内容: 氏名、受験種別、試験会場、受験票・合否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等</p> <p style="padding-left: 40px;">アップロード内容: 受験者ご本人の写真データ</p> <p>⑤入力確認画面を経て、受験申込完了</p>
受験票送付	2018年8月10日(金) 発送
合否通知送付	<p>2018年9月7日(金) 発送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、合否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも9月10日(月)にお送りします。

<1次試験 試験時間>

09時30分	各試験会場に入館できます
10時20分	指定の教室・座席にご着席ください
10時25分	注意事項伝達・試験問題配布
10時40分	試験開始
12時00分	試験終了

<試験会場について>

<p style="text-align: center;">東京会場 TKP 渋谷カンファレンスセンター (東京都渋谷区渋谷 2-17-3)</p> 	<p style="text-align: center;">大阪会場 毎日インテシオ 大阪市北区梅田 3-4-5</p> 
<p>・JR「渋谷駅」 徒歩約 6 分</p>	<p>・JR 大阪駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約 15 分</p>
<p style="text-align: center;">名古屋会場 A P 名古屋 (名古屋市市中村区名駅 4-10-25)</p> 	<p style="text-align: center;">札幌会場 北海道建設会館 (札幌市中央区北 4 条西 3-1)</p> 
<p>・「名古屋駅」 徒歩約 5 分</p>	<p>・地下鉄さっぽろ駅 12 番出口 (西武) 13 番出口 (東急) 徒歩 3 分</p>

※資格検定試験の詳細は、下記 URL の PR プランナー資格 Web サイトをご覧ください。

<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>

第22回PRプランナー資格認定検定試験**2次試験を5月13日に実施****東京・大阪・福岡で、325名の受験者が挑戦！****資格委員会**

5月13日（日）、第22回PRプランナー資格検定2次試験が東京（東京富士大学）、大阪（毎日インテシオ）、福岡（AQUA博多）で行われました。今回の2次試験では、東京会場：306名、大阪会場：39名、福岡：8名の合計353名が受験申込をされ、当日は325名（東京会場：281名、大阪会場：36名、福岡：8名）の受験者が受験し、そのうち246名（東京会場：217名、大阪会場：24名、福岡：5名）が合格されました。また、今回の2次試験の合格率は75.7%となりました。

今回も無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の2次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

< 第22回 科目別 正答率65%以上 >

科目A：CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識

受験者325名、正答率65%以上246名、達成率75.7%

科目B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識

受験者325名、正答率65%以上246名、達成率75.7%

科目C：広報・PR実務に関する知識

受験者325名、正答率65%以上236名、達成率72.6%

科目D：時事知識

受験者325名、正答率65%以上169名、達成率52.0%

< 第22回 2次試験合格率 >

受験者325名、合格者246名、合格率75.7%

※上記「科目別 正答率65%以上」の人数は、2次試験合格基準となる「全出題数に対して正答率65%以上、かつ各科目の正答率がいずれも50%以上で合格」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。



東京会場：東京富士大学

■第22回2次試験(2018年5月13日) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	66名	37名	9名	3名	2名	8名	4名	13名	142名
	合格者	51名	32名	7名	2名	2名	6名	1名	12名	113名
女性	受験者	50名	87名	10名	1名	3名	5名	8名	19名	183名
	合格者	33名	66名	9名	1名	3名	4名	4名	13名	133名
全体	受験者 (全体比)	116名 (35.7%)	124名 (38.2%)	19名 (5.8%)	4名 (1.2%)	5名 (1.5%)	13名 (4.0%)	12名 (3.7%)	32名 (9.8%)	325名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	84名 (34.1%)	98名 (39.8%)	16名 (6.5%)	3名 (1.2%)	5名 (2.0%)	10名 (4.1%)	5名 (2.0%)	25名 (10.2%)	246名 (100.0%)
	合格率	72.4%	79.0%	84.2%	75.0%	100.0%	75.0%	88.9%	78.1%	75.7%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	44名	49名	49名	142名
	合格者	32名	39名	42名	113名
女性	受験者	64名	79名	40名	183名
	合格者	43名	55名	35名	133名
全体	受験者 (全体比)	108名 (33.2%)	128名 (39.4%)	89名 (27.4%)	325名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	75名 (30.5%)	94名 (38.2%)	77名 (31.3%)	246名 (100.0%)
	合格率	69.4%	73.4%	86.5%	75.7%

受験者	合格者	合格率
325名	246名	75.7%

■2次試験累計(第1回～第22回) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	897名	927名	271名	45名	66名	82名	128名	165名	2581名
	合格者	707名	773名	212名	37名	57名	67名	71名	137名	2061名
女性	受験者	662名	1194名	227名	49名	51名	46名	140名	198名	2567名
	合格者	466名	875名	162名	32名	43名	39名	67名	140名	1824名
全体	受験者 (全体比)	1559名 (30.3%)	2121名 (41.2%)	498名 (9.7%)	94名 (1.8%)	117名 (2.3%)	128名 (2.5%)	268名 (5.2%)	363名 (7.1%)	5148名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	1173名 (30.2%)	1648名 (42.4%)	374名 (9.6%)	69名 (1.8%)	100名 (2.6%)	106名 (2.7%)	138名 (3.6%)	277名 (7.1%)	3885名 (100.0%)
	合格率	75.2%	77.7%	75.1%	73.4%	85.5%	82.8%	51.5%	76.3%	75.5%

		20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	692名	1095名	787名	2581名
	合格者	501名	888名	672名	2061名
女性	受験者	956名	1120名	491名	2567名
	合格者	622名	827名	375名	1824名
全体	受験者 (全体比)	1655名 (32.1%)	2215名 (43.0%)	1278名 (24.8%)	5148名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	1123名 (28.9%)	1715名 (44.1%)	1047名 (26.9%)	3885名 (100.0%)
	合格率	67.9%	77.4%	81.9%	75.5%

受験者	合格者	合格率
5,148名	3,885名	75.5%

「2018 PR Yearbook」発刊 ～ 巻頭特集 「今、越境するPR。」～

広報委員会

協会では、パブリックリレーションズの社会的認知を高めるとともに、日本における広報・PR活動の質的向上を図ることを目的に、これまで9号の年鑑を発行してきました。

2018年度版の第10号では、巻頭特集として、これからのパブリックリレーションズの可能性についてさまざまな視点から識者のみなさまに語っていただきました。

主な内容

●今、越境するPR。(巻頭特集)

- ・メッセージ「先の見えない社会だからこそ、ストーリーをつくり、語る。」一ツ橋大学ビジネススクール 教授 阿久津聡氏
- ・マネジメント「広報出身CEOが語る、PRパーソンへの15の特別メッセージ。」アサヒグループホールディングス 会長 泉谷直木氏
- ・SDGs「今こそPRのコネクター力を。」国連広報センター 所長 根本かおる氏
- ・AIテクノロジー「AIは、人間の能力を広げてゆくテクノロジー。」
- ・地方創生「地域の発想が新しい普遍性を生む。」 座談会

●社会は確かに動いた、PRアワードグランプリ2017

- ・審査委員長コメント (株)博報堂ケトル 代表取締役社長 嶋浩一郎氏
- ・PRアワードグランプリ2017
グランプリのほか、ゴールド、シルバー、ブロンズの受賞事例を紹介しています。

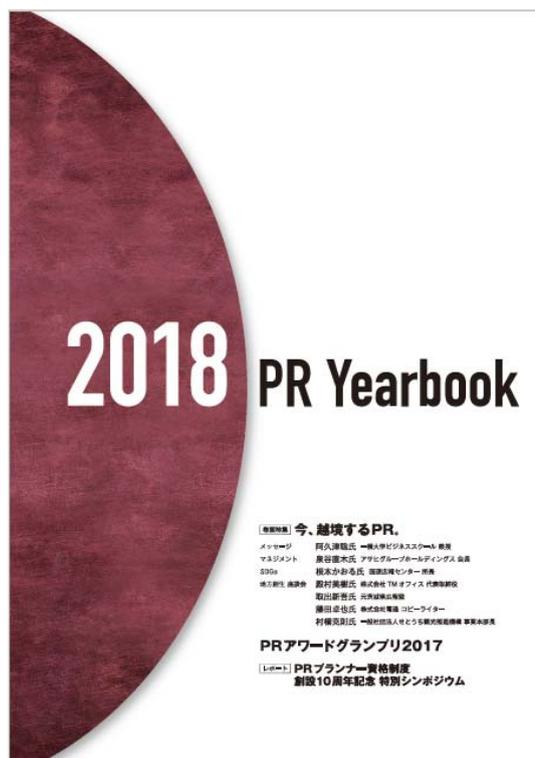
●日本PR大賞

- ・「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」受賞者の加藤一二三氏(棋士)、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」受賞者の特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会の受賞コメントなどを紹介しています。

●PRプランナー資格制度創設10周年記念 特別シンポジウム レポート

- ・パネルディスカッション「広報・PRの課題とこれからの可能性」

●2017年度 協会活動



会 員 限 定**第1回「企業部会総会」を5月18日に開催**

—会員交流の活性化を主眼に初の試み—

企 業 部 会

企業部会では、会員企業の相互の交流をさらに活性化するべく、第1回「企業部会総会」を5月18日、グランドプリンスホテル新高輪 バンケットルーム「イルレオーネ」にて初開催しました。今回初の試みである企業部会総会でしたが、ご多忙にもかかわらず多数のご応募をいただき当日参加を含む、34社45名ものご参加をいただき大盛況の総会となりました。

RREPORT**会 員 限 定****第191回定例研究会****朝日新聞の経済報道と広報部にお願いしたいこと
～記者と広報の信頼関係づくりとは～**

**講師：朝日新聞東京本社
経済部長 丸石伸一氏**

第191回定例研究会(4月度)は、4月25日(水)12:00から、六本木アカデミーヒルズ49「カンファレンスルーム」で開催しました。

朝日新聞東京本社 経済部長 丸石伸一氏。テーマは「朝日新聞の経済報道と広報部にお願いしたいこと～記者と広報の信頼関係づくりとは～」。当日の参加者は64名でした。

「働き方改革」と広報業務

株式会社バンダイナムコアミューズメント
小野 薫

はじめまして、小野と申します。今年の4月1日に株式会社ナムコから社名変更した「バンダイナムコアミューズメント」という、業務用アミューズメント機器の製造販売と、テーマパークや直営アミューズメント施設を全国に約250か所運営する会社で、企業広報・秘書業務部門と顧客対応・品質管理部門のマネージャーをしています。PRプランナー歴は丸9年です。

広報の仕事について、私はずっと「“媒体の時計の針”にどれだけ合わせられるかが広報成果に直結する」と教えられてきました。とは言え「働き方改革」が叫ばれる今日、私の部門もいかに効率化を図り、生産性を高めるかが求められています。

おかげさまでここ数年新規施設の出店が増え、媒体様の依頼もたくさん頂戴していますが、広報担当は私を含めて東京に4名だけ。全国の店舗をカバーしながら残業をいかに減らすかが全社的なテーマとなっているため、「広報機能の強化」はイコール「業務の効率化」であり、いろいろと悩んでいます。

そんな中で、先進的なIT企業でもなく、ITリテラシーも高くない私がやってみたことを今日をご紹介します。

①全部署のリリース配信のスケジュールを広報がコントロールしてみた

ほとんどの企業様はリリース配信のコントロールはごく当たり前のことだと思いますが、弊社は広報発のリリースの他に事業部の販促部署でも独自のプレスリリースを配信し、会社全体で年間約200本超のリリースがバラバラに出ていました。多い日には一日に6本リリースが出ることもあり、リリース間のカニバリはもちろん、広報内の業務集中にとっても悩んでいました。

そこで全部署のリリース予定をOUTLOOKに入れて担当者全員とPR会社が共有し、開示日を調整することにしました。すると事業部担当者は露出のパフォーマンスを下げたくないのも、他部署のリリース日を自然と避けるようになり、配信業務が立て込むことが減りました。

②お客様相談システムを広報業務に流用してみた

私は2年前からカスタマーサポート部門を兼務しており、お客様相談業務のシステムを使っていましたが、[お客様からのお問い合わせを受付]→[店舗や開発など担当部署への確認・調整]→[お客様へご返信]という一連の流れは「お客様」を「媒体様」に置き換えればそのまま媒体対応の調整にも使えることに気がきました。そこでお客様メール対応のシステムを一部改修して広報業務にも広げることになりました。これによって従来のエクセルでの案件管理が不要になり、現場との連絡・調整に要するスピードがアップしました。さらに全ての案件がシステムに格納されるため取材傾向の分析などナレッジも蓄積できて一石二鳥となりました。現在媒体様から広報宛のご依頼は弊社ホームページ経由でお寄せいただくようお願いしています。そのほうが電話よりもスピーディにお応えすることが可能だからです。媒体様と広報間のやり取りが電話からメー

ルにシフトしている今だからこそ可能なことですが、働き方改革で定時後の携帯電話使用も配慮が必要になる昨今、こういったシステムの活用は広報業務改革のカギになるのではと考えています。

そんな感じで、決して洗練された取り組みではありませんが、色々な試行錯誤をしながら広報業務の効率化を追求したいと思っています。働き方改革の中で、広報業務はどこまで効率化と生産性の向上ができるのか？PRプランナーの皆さんと是非議論を深めたいテーマです。

<コラム関西の風>

商いの心

パナソニック株式会社
パナソニックミュージアム 恵崎政裕

当社が創業 100 周年を迎えた 3 月 7 日にパナソニックミュージアムが開所して 3 ヶ月、お陰様で連日大勢のお客様で賑わっています。

その核となる松下幸之助歴史館で、ぜひご覧になっていただきたい映像作品があります。それは『松下幸之助 商いの心』（以下、『商いの心』）。旧歴史館でも上映され、好評を博してきました。

この作品は、生涯一商人であることを貫いた幸之助の商売に対する考え方、極意を、紹介していきます。それは「お客様大事の心」に始まり、「お客様の声を聴く」、「魂を込めたものづくり」を経て、「サービスの尊さ」、「妥協を許さぬ利益観」へと続きます。

いずれも重要な主題ですが、注目すべきは「サービスの尊さ」でしょう。というのも、これは私たちが身を置く現代社会のありようにも直結するからです。



パナソニックミュージアムの中心、松下幸之助歴史館

幸之助は近視眼的な見返りにとらわれることなく、奉仕の精神を尊び、賞賛します。

「私ども子供の時分に、よく親方から教えられたのは、商売人というものは『損して得とれ』ということです。『損して得とれ』とは今日のサービスです」「松下電器のすべての人は、サービス精神にこと欠いてはならない。それは、友人に対するサービスであり、会社に対するサービスであり、顧客に対するサービスであり、社会に対するサービスでもある。いっさいがサービスから始まる」

商い、すなわち経済行為は、お金が動く「交換」と心が動く「贈与」、これら二つの原理に拠って立ちます。そして、両者の調和、相互浸透があって、経済は健全なる発展を遂げていく。『商いの心』は、そのありさまを次のように描写します。

「物が動いて、お金が動いて、それで一応、商売は成り立つ。しかしもう一つ、根本的に大事なことは、物やお金とともに、人の心もまた、これに乗って移り動いていかなければならない。単に物を作り、物を売り、そしてお金を得ているというだけなら、商売とはまことに索漠としたものになってしまう」

しかるに今日、「物が動き、お金が動く」だけの交換が大手をふるい、「人の心の移り動き」に象徴される贈与が、片隅に追いやられている。そのような感が否めません。それが、人と人との絆の喪失、家族や地域社会の崩壊など、現代社会のかかえる難題を増幅させているのは明らかでしょう。

それゆえ私たちは、「いっさいがサービスから始まる」と喝破する幸之助の言葉を、贈与の復権

を唱えるメッセージとして受け止め、しっかり噛みしめたいと思うのです。

こうした示唆に富む『商いの心』は、展示ホールの中央、「学びの杜」でご覧になっていただけます。幸之助 94 年の生涯を巡る展示を見終えたら、ちょっと一服、椅子に腰を下ろし、「生涯一商人」の声に耳を傾けてみてください。



松下幸之助 10 歳、奉公先・五代自転車商会の奥様と



松下幸之助 79 歳、『商いの心』の一場面

PRSJ in Media

● 6月1日（金） 『月刊広報会議』6月号

『月刊広報会議』6月号において、当協会が3月に開催した「特別国際セミナー」の様について記事掲載されました。本セミナーには講師として米アリソン・アンド・パートナーズから3名のメンバーを迎え、インターネットユーザーの購買行動に関する調査の結果に基づく講演が行われました。

講演では、日本、中国、シンガポールにおける消費者の購買行動の特徴や「エンゲージド・エンスージアスト（熱狂的支持者）」と呼ばれる消費者グループによる購買行動への影響など、調査から得られた興味深い傾向が紹介されています。それをふまえ、消費者を購買に導くコミュニケーション戦略について同社の新たなアプローチが示されました。

（事務局・真部）

[記事協力 株式会社内外切抜通信社]

編集担当から

会員みなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載